

## 金沢大学における教育学部の教員養成（略年表）

深川明子

### 1 教育学部創設期（師範学校から教育学部へ—教員養成制度大改革の中で）

- 1874（明治7） 石川県師範学校創設
- 1908（明治41） 石川県師範学校から女子師範学校が分立
- 1943（昭和18） 石川県師範学校と石川県女子師範学校を合併、石川師範学校男子部・女子部とする  
石川師範学校、師範学校令公布により専門学校に昇格し、文部省直轄となる
- 1944（昭和19） 金沢高等師範学校設置  
石川青年師範学校設置
- 1947（昭和22） 「石川教育（学芸）大学」独立構想
- 1948（昭和23） 暁烏文庫落成式（11月3日）
- 1949（昭和24） 石川師範学校・石川青年師範学校・金沢高等師範学校の一部を母体に、国立学校設置法により金沢大学教育学部を設置、小学校教員養成課程4年・2年、中学校教員養成課程4年・2年、高等学校教員養成課程（保健体育科）の5課程をおく  
教育学部に金沢大学石川師範学校 金沢大学石川青年師範学校  
理学部に 金沢大学金沢高等師範学校  
各師範の附属学校は金沢大学教育学部附属中・小学校・幼稚園に
- 1951（昭和26） 金沢大学石川師範学校 金沢大学石川青年師範学校閉校
- 1952（昭和27） 金沢大学金沢高等師範学校閉校  
附属学校は金沢大学教育学部附属中学校・高等学校に

### 2 教育学部発展期（課程の増設などや入学定員の増員）

- 1952（昭和27） 特別教科（保健体育）教員養成課程設置
- 1953（昭和28） 聾学校教員養成課程設置（2年—69年廃止）
- 1964（昭和39） 養護学校教員養成課程設置
- 1965（昭和40） 教育専攻科設置
- 1966（昭和41） 聾学校教員養成課程設置
- 1969（昭和44） 言語障害児教育教員養成課程設置（1年—75年廃止）
- 1973（昭和48） 言語障害児教育教員養成課程設置
- 1975（昭和50） 特殊教育特別専攻科（言語障害児教育）設置（1年）  
附属教育工学センター設置
- 1977（昭和52） 小学校教員養成課程学生定員40名増員（140名に）

### 3 教育学部充実期（大学院設置・現職教員との交流—実際的な指導力の向上を目指して）

- 1968（昭和43） 「金沢大学教科教育研究第1号」刊行
- 1982（昭和57） 教育専攻科廃止、大学院教育研究科（修士課程）を設置  
学校教育・国語教育・社会科教育・理科教育・保健体育・英語教育・障害児教育の7専攻で発足、93年に12専攻完成

### 4 教育学部嵐の改組再編期（教員需要の減少と大綱化の波を受けて）

- 1989（平成1） 小学校教員養成課程を一部改組し総合科学課程設置  
特別教科（保健体育）教員養成課程廃止、スポーツ科学課程設置
- 1991（平成3） 附属教育工学センターを改組して、附属教育実践研究指導センター設置
- 1996（平成8） 小学校、中学校、高等学校教員養成課程を学校教育教員養成課程に改組  
聾・養護学校教員養成課程、言語障害児教育教員養成課程を、障害児教育教員養成課程に改組  
総合科学課程を人間環境課程に改組（学生定員225名）
- 1998（平成10） 附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組
- 2000（平成12） 学校教育教員養成課程（80名）障害児教育教員養成課程（20名）人間環境課程（60名）スポーツ科学課程（35名）の部分改組と教員養成課程部門の学生定員縮小——現在に至る

\* 免許制度の改革（免許法の開放主義）による教育学部以外の学生の免許の取得と教育機関への就職

\* 総合大学の中で学生生活を送った教育学部の学生たち（多様な就職と進学）

\* 共通一次試験の導入と学生気質